

正式名称	東鉄工業株式会社 東鉄総合研修センター 茨城県つくばみらい市紫峰が丘2丁目1番 最寄り駅：みらい平（つくばエクスプレス） https://www.totetsu.co.jp/company/learning-center/								
概要	<p>➤ 2001年～2021年まで『東鉄技術学園』として東京都江戸川区船堀にて運営していた研修施設を、2022年4月に現在の地へ移転した。座学だけでなく、実体験の研修にて「知って、見て、触れて、体感して」学ぶことができる施設となっている。</p> <p>➤ 社内研修・協力会社研修のほか、「身近で親しみやすく社会・地域に貢献する施設」を目指し、地域住民向けのイベントも実施している。（地域住民向け公開イベント、近隣小学校・中学校職業体験学習イベント、高校生・大学生採用活動など）</p> <p>➤ 研修センター2024年度稼働状況</p> <p>➤ 研修センター2024年度稼働状況</p> <table border="1" data-bbox="411 840 1313 1059"> <thead> <tr> <th>研修参加者</th> <th>安全研修室</th> <th>研修センター見学</th> <th>研修センター利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,992名（延べ） 1年次～5・6年次、 役職ごと研修など</td> <td>2,145名 （延べ）</td> <td>約77団体 1,324名</td> <td>約36団体 1,533名</td> </tr> </tbody> </table> <p>➤ 所長含め10名（うち専任講師：7名） 兼任講師：約100名（各施工部門の現場所長・主任から選出）</p>	研修参加者	安全研修室	研修センター見学	研修センター利用	16,992名（延べ） 1年次～5・6年次、 役職ごと研修など	2,145名 （延べ）	約77団体 1,324名	約36団体 1,533名
研修参加者	安全研修室	研修センター見学	研修センター利用						
16,992名（延べ） 1年次～5・6年次、 役職ごと研修など	2,145名 （延べ）	約77団体 1,324名	約36団体 1,533名						
コンセプト	<p>➤ 啐啄同機（そったくどうき）：“啐“はヒナが内側から卵の殻をつつくこと、”啄“は親鳥が外側から卵の殻をつつくこと、それが”同機“すなわち両者がそろふことによって、ヒナが卵からかえることを意味する。</p> <p>東鉄工業では「自らの成長意欲と、周囲（教える側、上司・先輩など）の働きかけが相まって、人は大きく成長できる」と捉え、人材育成のコンセプトとしている。</p> <div data-bbox="676 1473 1046 1917" data-label="Image"> </div>								

	<p>➤経営理念：～安全はすべてに優先する～ 東鉄工業グループは、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。</p> <p>➤2025年安全スローガン： 安全は、リスク把握と危険予知 ルール遵守で事故防止 標語は社内公募。</p> <p>当NPO法人の活動目的である「危険に対する感受性（リスクに対するセンス）向上の視点から安全体験・体感型教育活動を支援するため、このような活動を行っている研修施設を顕彰し、その活動内容を公表し、労働安全活動の底上げを目指す」と合致！</p>
安全研修室	<p>経営理念である「安全はすべてに優先する」ことを理解・実践するために、東鉄工業で発生させた重大事故の実物展示や映像・VR（仮想現実）などのコンテンツを備えた部屋となっている。</p> <p>「列車の安全」「第三者の安全」「私たちの安全」「過去の事故エリア」4つのエリアに分かれている。</p> <p>入り口では社長メッセージを見ることができる。</p> <p>①列車の安全エリア</p> <p>【京浜東北線バケット衝撃事故】 2003年10月6日4時30分 京浜東北線大井町・大森間において、バケットを軌間内に置き忘れ、始発列車が衝撃。列車運休・遅延が発生</p> <p>【東海道線トラマス列車衝撃事故】 発生日時 2019年10月3日0時2分</p> <p>スクリーンでは当時の事故の様子・原因・改善策が明示されている。また、置き忘れたバケット及び仕上がりトラックマスター（トラマス）」の現物も置かれている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>置き忘れバケット（現物）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>置き忘れのトラマス（現物）</p> </div> </div>

②第三者の安全エリア

【五反田駅 鋼材がお客様へ衝撃】

2019年5月16日13時45分、五反田駅旅客通路において、鋼材が約3.4mの高さから落下し、歩行中のお客様に衝撃し大怪我を負わせた。スクリーンの横に、この事故と同じ長さ・重量の鋼材を落下させることで衝撃や危険性を実際に体感できる設備がある。鋼材がヘルメットに当たった際の衝撃音には驚かされ、ヘルメット着用の重要性を改めて再認識させられた。



③私たちの安全エリア

【曙橋りょう墜落事故】

2012年4月16日8時43分、京葉線曙橋りょうにおいて、運河上の橋りょう側面に吊り足場（トビック足場）設置中、床材が外れ、床材を固定していた作業員1名が12.0m下の運河に墜落し死亡（溺死）した。

『墜落防止は99点では許されない』

『墜落制止用器具（安全帯）を使用していない作業員（無胴綱状態）を確認した場合は、直ちに高所作業を中止させ、当該作業員の命を守るために現場から退場させる』

VRで墜落体験ができる。

④過去の事故エリア

過去の事故の概況、要因、対策を主体的に学ぶエリアになっており、平成元年（1989年）から鉄道工事関連で発生した重大な事故について、自社・他社を含めて年表で表している。

また、タッチパネルが複数設置してあり、事故種別、ルール別、地域別で検索し、事故の概況・要因・対策等の資料を確認することができる。実際の研修ではグループとなり、ルールの成り立ちや事故原因を調べることに利用している。



実習棟
実習線

構造物実寸大模型3基（高架橋、鉄筋コンクリート造・鉄骨造の建築物）を備えた施設がある。実際の工事で使用する材料の現物サンプルの展示もしている。屋上には太陽光パネルを設置し、発電した電力を研修棟に供給している。

①土木部門

➤鉄筋コンクリート造の実物大高架橋模型を設置しており、鉄筋が施工図面通りに組み立てられているか確認できる構造になっている。
また、「墜落防止疑似体験設備」を備えており、「墜落」を疑似的に体験することができる。



②建築部門

➤施工順序について、「模型と図面を比べて、実際に寸法を測って、理解度を向上させる」ことを目的に、鉄筋コンクリート造のマンション鉄骨造の事務所を想定した模型を設置している。



➤ 模型を使用して、設計図読込・施工図作成・作成図面と模型の正誤確認・図面を確認しながら材料数集計などの流れを学ぶことができる。

完成したリビング（1階）風景は、研修センターパンフレットより転載。



実習線

➤ 総延長約 830m（最長約 255m）の 4 つの線路と、さまざまな種類の線路構造、分岐器、マクラギ、信号機、架線等を取り入れている。また、線路のメンテナンスに欠かせないマルチプルタイタンパ等の大型保線機械を配置している。

当日は残念ながら台風強雨のため見学できなかった。

次回は、見学したい。



実習線風景。研修センターパンフレットより転載。

「安全を誓う碑」



「安全を誓う碑」は、協力会社で構成される安全衛生協力会より、さまざまな事故や事象で殉職された社員・協力会社の皆さまへの思いを込めて寄贈された記念碑。鉄道事業を象徴するレールで構成されており、コンセプトはTORCH「松明」となっており、闇を照らすことへの象徴や、知識の光を意味している。

研修棟

➤教室が5室、カフェテラス、ラウンジ、図書室、宿泊施設がある。社員同士の絆の醸成を目的とした、4人部屋26室（男性19室、女性3室、男女入替可能4室）合計104名が宿泊可能な設備となっている。

東鉄総合研修センター “週間研修案内”						
研修期間:2025年7月28日(月)~2025年8月1日(金)						
教室	研修名	人数	時間	期間	その他	
教室1,2	【安全研修】 誘導員(軌道車)研修①	21	9:30~12:30	7月28日(月)	単日研修	
教室1,2	【建築研修】安全研修②-5	27	13:00~16:30	7月28日(月)	単日研修	
教室1,2	【建築研修】技術レベルアップ研修 (材料管理・検査)	50	9:30~16:30	7月29日(火)	1日研修	
教室1,2	【建築研修】技術レベルアップ研修 (材料管理・検査)	49	9:30~17:30	7月30日(水)	1日研修	
教室1,2	【共通研修】2年次研修	81	9:30~17:30	7月31日(木)	1日研修	
教室3	【機械研修】技術レベルアップ研修 (MC) (機械)	8	9:30~17:30	7月31日(木)	1日研修	
教室4	【土木研修】6年次研修	16	9:30~17:30	7月31日(木)	1日研修	
教室5	【建築研修】1年次研修	26	9:30~16:30	7月31日(木)	4日研修	

各部屋番号の表記デザインに鉄道の路線カラーを取り入れている。また、各教室への誘導サインに「線路のレール」がデザインされており、2022年5月20日にアメリカで開催された「THE ONE SHOW」においては、デザイン部門（空間デザイン／経路案内）でゴールド賞を受賞した。

その他、安全・作業効率向上のための技術開発の展示も行っている。





感想

➤安全研修室では事故の様子、事故現物の展示があり、理解しやすいと感じた。現場を知ることができ、パートナー会社や他社の利用・見学も可能。

鉄道メンテナンスの重要性や安全の大切さを知ってもらい、鉄道・建設業界に興味を持ってもらいたいという想いから以下のような「うんこドリル」を子供（小学生）向けに作成して配付している。地域社会への貢献活動の一環でもある。

TOTETSU x うんこドリル 鉄道の安全

➤「安全はすべてに優先する」との経営理念を掲げ、安全研修室には、作業中に発生した事故を教訓として、「事故の様子・原因・改善策」を掲示して、社員ばかりでなく、グループ会社や協力会社も含めた「危険に対する感受性を高める啓発教育」をされていると感じた。また、本研修センターには、宿泊設備が完備されており、女性専用の部屋と男女切り替えできる部屋も整備されている。業務に関連する図書も備置され、実物大の構造物による業務研修も行われており、企業全体の人財の質的向上に鋭意努力されている経営姿勢も知ることができた。

お勧めスポット

1. つくばエクスプレス始発駅・秋葉原は電気街が有名。
<https://akiba.or.jp/>
2. 終点・つくば駅周辺では、
 - ・宇宙航空研究機構（JAXA）
<https://www.jaxa.jp/about/centers/tksc/>
 - ・国立科学博物館筑波実験植物園
<https://tbg.kahaku.go.jp/>

	<p>3. 少し遠いが、筑波山 https://www.city.tsukuba.lg.jp/tourism/tsukubasan/index.html</p>
<p>見学記 作成メモ</p>	<p>見学：2025年8月1日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>見学記：案・三谷、確認・石山、加藤、小山、中山、山川 写真：石山、加藤、三谷、一部は研修センター提供</p>